**覚　書**

（貸主）○○○○（以下「甲」という。）と（借主）○○○○（以下「乙」という。）は、甲乙間の令和○年○月○日付金銭消費貸借契約（以下「原契約」という。）に関して以下の事情が発生したことから、次のとおり覚書（以下「本覚書」という。）を締結する。

【事情】

原契約に基づく乙の債務の履行を担保するために、乙所有の不動産に順位１番の抵当権を設定することになった。

第１条（抵当権の設定）

乙は、原契約に基づいて発生した乙の債務の履行を担保するために、甲に対し、乙所有の下記不動産（以下「本件不動産」という。）に順位１番の抵当権を設定した。

記

所　　在　　　○○県○○市○○

地　　番　　　○番○

地　　目　　　○○

地　　積　　　○㎡

以上

第２条（設定登記）

乙は、本覚書締結後、直ちに甲のために本件不動産について抵当権設定登記手続を行う。ただし、登記費用は乙の負担とする。

第３条（原契約維持）

甲及び乙は、本覚書に記載なき事項は、原契約に定めるところによることを確認する。

本覚書締結の証として、本覚書２通を作成し、甲乙相互に署名又は記名・捺印のうえ、各１通を保有することとする。

令和　　年　　月　　日

甲　　　　　　　　　　　㊞

乙　　　　　　　　　　　㊞